

御笠川那珂川流域下水道御笠川浄化センター下水汚泥固形燃料化事業の概要

1. 事業概要

本事業は、御笠川那珂川流域下水道御笠川浄化センター（福岡県福岡市博多区那珂4丁目5-1）において、福岡県がバイオマス資源である下水汚泥から燃料化物を製造し、石炭の代替燃料として有価で供給する事業で、燃料化施設の設計・施工・維持管理運営・燃料化物買取りを一括して民間事業者へ委託するDBO（Design:設計、Build:施工、Operate:運営）方式が採用されています。

2. 施設概要

- | | |
|---------------|---|
| (1) 処理方式 | 低温炭化方式 |
| (2) 施設能力 | 脱水汚泥 100t-wet/日×1基 |
| (3) 計画汚泥処理量 | 脱水汚泥 33,000 t-wet/年 |
| (4) 燃料化物製造量 | 約 3,800 t/年（年平均生成量） |
| (5) 燃料化物性状 | 高位発熱量 14.1MJ/kg |
| (6) 事業期間 | 設計・施工 契約締結日～平成31年3月
維持管理運営 平成31年4月～平成51年3月
燃料化物買取 平成31年4月～平成51年3月 |
| (7) 温室効果ガス削減量 | 約 5,800t-CO ₂ /年（当社試算）※ |

- ・下水処理場 約 900t-CO₂/年
- ・火力発電所 約 4,900t-CO₂/年

（※一般家庭 約 1,100 世帯/年の CO₂ 排出量に相当）

3. 事業概要図

